

教育学研究科 科目登録上の注意

1. 共通事項

変更情報は教育学研究科ホームページ、MyWaseda、Wasedaメール等でお知らせしますので、逐次確認するようにしてください。

科目登録にあたっては研究科要項「履修方法」の項を熟読し、登録ミス等のないよう十分に注意してください。教育学研究科では、春学期科目登録で1年間分の科目登録を行います（一部他研究科科目を除く）。

1-1. 修了要件

修了要件および修了所定単位の履修方法は、入学年次の教育学研究科要項、教育学研究科（専門職学位課程要領）にて確認してください。

1-2. 科目登録の手順

1. 科目登録届を教育学研究科 HP よりダウンロードしてください
2. 履修を希望する科目を科目登録届に記入した上で指導教員（メンター教員）と相談し、確認承認サインをもらうこと。（科目登録届は提出の必要はありません。）
3. 所定期間に Web 科目登録にて申請してください
 - ✓ 対象科目は、教育学研究科設置科目だけでなく、他研究科設置科目を含めた全ての登録希望科目です。教育学研究科設置科目は、秋学期開講科目も春学期に申請してください。
 - ✓ 設置箇所や科目により科目登録期間や申請方法が異なりますので注意してください。
 - ✓ 年度内に研究分野の変更等が生じた際は指導教員（メンター教員）と相談の上、指導教員および科目担当教員（科目登録追加の場合）の承認が得られた場合は、科目登録の変更を教育学研究科事務所に申し出てください。
 - ✓ 指導教員のサインが記入された科目登録届は、各自で保管してください。事務所への提出は必要ありません。

新入生は「初期 Waseda ID」「初期パスワード」を必ず確認してください

「初期 WasedaID」「初期パスワード」は入学後の科目登録やメールアドレス取得に必要となります。新入生は WEB 入学手続きシステム上で確認を忘れないようにしてください。



Web 科目登録は、取得した ID・パスワードで MyWaseda「★成績照会・科目登録専用メニュー」にログインすることからはじまります。科目登録間際に慌てることのないよう、余裕を持って ID を取得してください。

授業内容の確認等は Web シラバスを参照してください。紙媒体では発行していません

のでご注意ください。URL は下記の通りです。

<https://www.wsl.waseda.jp/syllabus/JAA101.php>



1-3. 科目登録のルール

● 年間履修制限単位数

1年間に登録できる単位数には上限があります。各専攻での年間履修制限単位数は以下の通りです。

専攻	年間登録可能 単位数	各学期登録単位数の上限※クォーター科目含む	
		春学期	秋学期
学校・国語・英語・社会科・数学教育専攻	36単位	-	-
高度教職実践専攻	1年制コース	-	-
	2年制コース	16単位	16単位

● 締切時間の厳守

PCやネットワーク機器等の不具合も含め、いかなる理由でも期間外の申請は認められません。

● 既得科目の再履修の禁止

研究指導を除き、既に単位を修得した科目を再度履修することはできません。担当教員または科目名称が変更となった場合でも、同一科目を再度履修することはできません。

● 配当年次

配当年次が2の科目は1年次には登録することができませんので注意してください。なお、高度教職実践専攻の1年制学生は、自専攻科目であれば配当年次に関わらず登録可能です。

● 聴講料・実験実習料が必要な科目

一部の科目では、聴講料・実験実習料が別途必要となります。Web申請画面上に”¥”マークのついた科目が聴講料の必要な科目です。

これら聴講料が必要な科目を登録した場合には、所定の納入期間に必ず納入してください。納入方法については、対象学生に納入案内メールが送付されますので、そのメールに記載の方法で納入してください。コンビニ支払、ペイジーまたはクレジットカードでの納入が可能です。



教育学研究科設置科目で聴講料が必要な科目は、学科目配当表・時間割表の備考欄に「※」印が付されている科目です。



聴講料未納の場合、当該科目の登録を取り消します。授業運営にも多大な影響が出ますので、**必ず所定期間に納入してください。**

● 登録科目の取消・科目区分変更

一度登録した科目の変更は原則として認められません。ただし、決定科目取消・変更期間にてWeb申請画面上から変更・取消が可能です。期間は後述(1-4)します。

なお、Web申請画面上で実行された取消・変更は即時反映されます。特に一度取り消した科目は、再登録できない可能性もありますのでご注意ください。**期間後の変更・取消はできません。**

対象科目は下記の通りです。

● 1次・2次登録で決定となった科目

- ✓ 自動登録科目は取消できません。ただし、高度教職実践専攻の選択必修科目(学校とコミュニティ開発、授業技術の理論と実践、教育行政・計画研究)はメンター教員の許可を受けたうえで、科目登録期間内に、教育学研究科事務所で手続きを行うことで、取消可です。

【Web申請システム 操作方法】

● 科目区分変更

**科目区分の変更
(申請期間中)**

検索結果一覧に表示される「科目区分」の欄がプルダウンメニューで選択可能になっている場合は、科目区分を変更して申請することができます。

科目検索結果一覧

選択したい科目の選択欄にチェックしてください。

検索を終了して一覧へ戻る

選択	学期	曜日	時間	開講学期	備考	科目名	担当教員	キャンパス	教室名	科目区分	単位	希望順位
<input checked="" type="checkbox"/>	前期	月	1	オープン教育	¥(要聴講料等) 関連URL	サッカー基礎 02	堀野博幸	東伏見	東伏見サッカー場	随意(非算入) 随意(非算入) 体育系	1	
<input type="checkbox"/>	前期	月	2	オープン教育	¥(要聴講料等) 関連URL	サッカー(ゲームトレーニング) 02	堀野博幸	東伏見	東伏見サッカー場	随意(非算入)	1	

● 科目取消

1 科目取消

※登録決定科目の取り消し
一部の科目で登録決定科目の取り消しを限られた期間内に行うことが可能です。
一度取り消すと登録データが消えてしまい、**再度登録決定に戻すことはできません**ので、十分注意してください。

早稲田大学事務サービス
Welcomeback さん

さんの履歴登録です。

(1)履歴申請は[登録科目一覧]の画面/窓中心に4つの画面で構成されています。
(2)履歴希望科目は[科目検索]ボタンにより科目検索画面で検索することができます。
(3)一部の科目は登録の取り消しが可能です。取消可能な科目は[科目取消]ボタンで作業を終了する前に印刷してこの画面を印刷してください。
■所属学部Web申請期間 2005年2月3日 0:00~2005年2月3日 23:59

科目検索

科目登録 [選択]の科目があります。[科目申請]ボタンで科目を申請してください。

科目区分	科目名	単位	状態
体育系	サッカー(ゲームトレーニング) 02	1	登録中

Copyright (C) Media Network Center, Waseda University 2002-2005. All rights reserved.
著作権/使用許諾条件 / 個人情報保護 / 利用不可文字にスクリプト (webdb)

2 取消の確認

取り消し可能な科目の一覧が表示されますので、取り消したい科目のチェックボックスにチェックを入れて[取消]ボタンを押してください。

○取消ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。

早稲田大学事務サービス
Welcomeback さん

さんの履歴登録です。

取り消し可能な科目は以下の通りです。取り消したい科目のチェックボックスにチェックを入れて[取消]ボタンを押してください。

科目区分	科目名	単位	状態
体育系	サッカー(ゲームトレーニング) 02	1	登録中

Microsoft Internet Explorer

本当に取り消しますか？

OK キャンセル

1-4. 科目登録等日程

教育学研究科ホームページご確認ください。

2.学校・国語・英語・社会科・数学教育専攻

学校教育専攻、国語教育専攻、英語教育専攻、社会科教育専攻、数学教育専攻における科目登録の注意点を挙げます。

2-1. 他専攻・他箇所設置科目の履修について

● 単位の取り扱い

対象科目	修了所定単位		登録単位数上限
・他専攻設置の選択科目 ただし、高度教職実践専攻設置科目は「分野別選択科目」のみ ・他研究科設置科目 ・大学院学生交流連合 (早稲田・京都・慶應義塾・東京大)	算入 ※算入上限4単位。また、大学院交流学生(慶應)と合わせて8単位	上限8単位	含む
大学院交流学生 慶應義塾大学	算入		
大学院全学共通設置科目/大学院生開放科目(グローバルエデュケーションセンター提供科目)	非算入		含まない
外国人留学生対象 日本語科目			

● 高度教職実践専攻:分野別選択科目

高度教職実践専攻が設置する科目は、分野別選択科目のみ履修可能です。これらの科目を履修するためには次の条件があります。

- ・教員免許状を取得ないし取得見込みの学生のみ聴講可能
- ・履修許可単位数は、在学中4単位以内
- ・登録した科目は年間履修制限単位数に含む
- ・該当科目は、教育学研究科HP>在学生の方へ>科目登録の関係書類一覧「学科目配当表・時間割表(高度教職実践専攻)」をダウンロードして確認すること

● 教育学研究科設置科目(インターンシップ科目)

教師をめざす学生にインターンシップを実践して充実した学習の場を提供することを目的として教育学研究科に設置されている次のインターンシップ科目を履修することができます。

- ・学級経営インターンシップ(大学院)(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)
- ・中等国語科インターンシップ

【学級経営インターンシップの登録について】

科目登録希望者は、Webでの科目登録だけでなく、以下の要件を満たす必要があります。

①説明会への参加

詳細はWebシラバスを参照してください。

②前提条件

原則として、以下の前提条件の両方を満たしていることが望ましい。

1. 「人間理解基盤講座」の単位を修得済みまたは春学期に並行履修していること。(並行履修の場合は、春学期に登録を行うこと)。
2. 一種免許状を取得していることが望ましい。

【中等国語科インターンシップの登録について】 ※手続きの詳細は、MyWasedaを参照のこと。

①科目登録方法

科目登録はMyWasedaでは行いません。3月の成績発表後、MyWasedaや教職支援センターWebサイトでお知らせ・配付する「中等国語科インターンシップ科目履修申請書」に必要事項を記入し、教育・総合科学学術院事務所へ直接提出してください。その後、教員による面接を経て、登録を認めます。面接の結果、登録が認められないこともあります。

②前提条件

以下1～2の条件をすべて満たす必要があります。

1. 教育学研究科在学中の学生であること。
2. 卒業後、中学校・高等学校の国語科教員となる意志を明確に有していること。

● 大学院学生交流連合(早稲田大学・京都大学・慶應義塾大学・東京大学)派遣学生

早稲田大学は京都大学、慶應義塾大学、東京大学との間で、大学院学生の交流に関する協定を締結し、博士後期課程の研究指導を中心とした、大学院学生の派遣および受入れを2008年より行っています。

希望者は、申請書(派遣学生用)を教育学研究科HPよりダウンロードし、所定の期間に教育学研究科事務所へ提出してください。なお、受入大学の承認印等の手続きがありますので、早めに手続きを行ってください。

※高度教職実践専攻に在籍する学生は対象外です。

● 大学院交流学生(慶應義塾大学)制度

教育学研究科では、慶應義塾大学大学院文学研究科・社会学研究科と教育の一層の充実を目指して、両大学大学院の学生が受入大学大学院の授業科目を履修することを目的とした学生協定を2003年より行っています。

希望者は、履修届を教育学研究科HPよりダウンロードし、所定の期間に教育学研究科事務所へ提出してください。なお、受入大学の承認印等の手続きがありますので、早めに手続きを行ってください。

※高度教職実践専攻に在籍する学生は対象外です。

3.高度教職実践専攻

科目登録にあたっては研究科要項を熟読し、メンター教員と相談のうえ、登録ミスのないよう十分に注意してください。

目的に沿った／バランスの取れた受講計画を



2年制コース学生には、1年次に多くの授業を登録し、時間に極端に追われた学生もいました。その半面、2年次の秋学期には受講科目がほとんどないといった大学院生活としては好ましくない状況もありました。こうした轍を踏まないよう注意し、一方で教員採用選考試験の勉強のための時間なども確保し、2年間にわたって計画的かつゆとりをもった大学院生活を送ってください。

3-1.メンター制度について

メンターとは、学生に対して入学時から修了時まで履修方法や履修状況について支援する教員のことを指します。本専攻では、入学時からメンターによる面談を通じて履修科目の選択と履修計画の立案および経過等を確認します。メンターとの面談では次のことが相談されます。

- | | | |
|--|---|---------------------|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 科目登録や履修科目の選択について 2. 履修状況や学習の進捗状況について 3. 各種奨学金申請 4. 休学・退学届け | } | 教員の署名・捺印が必要な書類があります |
|--|---|---------------------|



担当となるメンター教員は新入生ガイダンス時にお伝えします。ガイダンス後に、メンター教員と最初の面談の時間を打ち合わせてください。

3-2. 基本科目の登録

● 新入生

1年次配当の基本科目については履修人数の均衡化のため、クラスを指定して自動登録します。登録結果につきましては、新入生ガイダンス時にお知らせします。

選択必修科目を履修しない場合、やむを得ない理由でクラス変更を希望する場合には、メンター教員と相談の上、科目取消・変更の手続きをしてください。なお、基本科目は次の区分で自動登録を行います。

科目名	区分	年次	登録方法
カリキュラム開発の理論と実践	必修	1	クラス指定で登録
カリキュラム・マネジメントの理論と実践	必修	1	
授業設計の実践力	必修	1	希望学校種別で登録(中学-A、高校-B、小学-C)
授業分析の実践力	必修	1	
授業技術の理論と実践	選択	1	クラス指定で登録。メンターと相談後、取消し可。
学校カウンセリングの理論と技術	必修	1	クラス指定で登録
児童生徒の社会性・規範意識を育てる開発研究	必修	1	
学級経営の理論	必修	1	1クラスのため1年生全員自動登録
学級経営の実践力研究	必修	1	希望学校種別で登録(中学-A、小学-B、高校-C)
学校組織開発の理論と実践	必修	1	クラス指定で登録
教育行政・計画研究	選択	2	1年制コースの学生は自動登録。メンターと相談後、取消し可。2年生で履修希望の場合はWeb科目登録
教員の社会的役割と職業倫理	必修	1	クラス指定で登録
学校とコミュニティ開発	選択	1	クラス指定で登録。メンターと相談後、取消し可。

● 在学生

前年度までに単位を修得出来なかった必修科目および新たに選択必修科目の履修を希望する場合には、ご自身で Web 申請をしてください。

3-3. 他専攻・他箇所設置科目の登録

● 単位の取り扱い

	単位の取り扱い	年間履修制限単位数
他専攻設置科目	4単位を上限として、修了所定単位への算入が認められる。	修了所定単位への算入を申請した場合、年間履修制限単位数に含まれます。
他研究科提供科目	両科目合わせて2単位を上限として、修了所定単位への算入が認められる。	
大学院全学共通設置科目		
大学院生開放科目	非算入	含まれません
外国人留学生対象日本語科目		



「他研究科提供科目」・「大学院全学共通設置科目」を算入希望の場合、**Web 科目登録時に科目区分を変更して登録をしてください。**なお、2単位以上算入で申請しても算入として扱われるのは2単位までです。また、**算入上限を超えた単位も、年間履修制限単位数には含まれます。**

● 教育学研究科の他専攻設置の科目履修

教育学研究科の他専攻設置の科目は、選択科目の一部科目が履修可能です。なお、在学中に履修できるのは4単位までです。科目内容等の詳細は、教育学研究科HP在学生向け情報の学科目担当表・時間割表およびシラバスシステムにて確認してください。

3-4. その他注意事項

● 科目登録上の留意事項

【1年制コース学生】

- 目的をもって分野別選択科目・共通選択科目を選ぶとともに、他研究科提供科目や大学院全学設置科目といった教育学研究科以外の科目も履修可能です。総合大学である早稲田大学のメリットを十分に生かしてください。

【2年制コース学生】

- 1年次は修了必要単位である46単位の2/3程度の履修で十分です。基本科目の18単位と1年次の実習1科目5単位を履修するだけで23単位となります。したがって、そのほかに3~4科目を1年次で学習することが望ましいと言えます。
- 分野別科目は、1年次の実習を踏まえ、課題研究の対象となる科目を2年次に履修することも考慮し、2年間で修了要件の16単位以上を満たすように履修してください。
- 通年科目および夏季集中科目は各学期の登録単位数の上限には含まれませんが、年間登録単位数の上限には含まれます。

● 【1年制コースの学生対象】共通選択科目の随意履修申請

1年制コースの学生は、年間登録制限単位数との関係から、共通選択科目について年間4単位を上限として修了単位と扱わない随意履修に科目区分を変更可能です。希望者は、科目登録届にて当該科目を赤字で記入し、Web 科目登録時に科目区分を変更して申請してください。



必ず Web 科目登録時に「随意科目」へと科目区分を変更して申請してください。デフォルトでは「共通選択科目」の区分となっています。

● 「授業力向上の実践演習」の登録について

「授業力向上の実践演習」は、科目登録修了後に履修者が均等になるようにクラスを決定します。Web 科目登録時には「A」クラスを仮に登録してください。正式に決定したクラスは後日お知らせします。

● 「教育実践論文演習」について

本科目は必修ではありませんが、「自分の実践や解明したい疑問をまとめ」、その方法を学ぶという観点から履修を推奨します。2年制コースの学生は、2年次に配当されている科目ですので、2年次以降に科目登録を行ってください。但し、受講を目指している学生は、1年次より参加可能か教員と相談してください。なお、詳細はWaseda Moodleの「高度教職実践専攻 履修指導」に掲載しています。

● 「教育行政・計画研究」について

本科目は選択必修科目となります。1年制コースの学生は自動登録されていますが、履修を希望しない場合には、上述の「登録科目の取消・科目区分変更」にしたがって取消の手続きをしてください。

● 実習費等

早稲田キャンパス以外で開講する科目(学科目配当表の教室欄に「軽井沢セミナーハウス」等の記載がある科目)は、交通費、宿泊費、食費等の実費が必要となります。また、「学校臨床実習」も、実習校までの交通費、給食費等の実費が必要となります。

● 夏季集中・冬季集中科目の日程・時限について

Web シラバスを確認してください。不明点がある場合には、担当教員にご確認ください。

● クォーター科目について

学期を前半、後半に分けて配当されている科目は、同一の曜日時限に配当されている場合でも、期間が異なればその両方を履修することが出来ます。ただし、通常の春学期科目・秋学期科目との重複履修は出来ません。

● Waseda Moodle等の利用について

授業等についての連絡はWaseda Moodle、MyWaseda、Wasedaメールを通じて行われることが多いので、逐次チェックしてください。

以 上